



NPO法人 あそびそだちiLabo

笹川 陽介

SASAGAWA YOSUKE

1980年 新潟市東区出身
2007年 株式会社「笑足(わらかし)ねっと」
立ち上げに伴い柏崎市へ移住
2019年 NPO法人 あそびそだちiLabo 発足

市内東本町のモーリエ1Fにある「運動あそび塾 しらさん家」は、小学生や未就学児が運動遊びや外遊びなどで、思い切り体を動かして遊べる「運動あそび教室」の拠点として親しまれている。発足から16年目となり、3年前に「株式会社笑足(わらかし)ねっと」から事業を引き継ぎ、NPOとして新たなスタートを始めている。

NPO法人 あそびそだちiLaboの理事長として活動する笹川陽介さんは、笑足ねっとの発足時から共に活動を支えてきた一人。これまでの「子どもたちの運動あそび」事業を切り離してNPO法人化したことで、より自由度が増したと感じている。

笹川さんは新潟市東区出身。小学生から高校生まではバスケットボールに明け暮れる日々を過ごした。スポーツの楽しさや喜び、負けた時の悔しさ、友達やコーチとの関係、夢中になることの大切さや充実感、多くのことをそこで学んだという思いがある。大学時代に東京で自然学校の学生リーダーを体験し、卒業後にその団体で実習生として2年間を過ごす中

で、自然体験活動を通じて子どもたちを育てる手法を学んだ。その後、笹川さんは新潟に戻り、スポーツの専門学校に入学。スポーツトレーナー科で学んだ後、柏崎で「笑足ねっと」を発足しようとしていた代表の白川さんと出会い、一緒に活動を始めることになったと話す。

現在中心となっている活動は「運動あそび教室」で、年中・年長のキンダーコース、小1～3年のジュニアコース、小4～6年のレベルアップコースがある。内容は、主に鬼ごっこやドッジボールなどで、子どもたちが自発的に思い切り体を動かすためのサポートを行う。冬は「しらさん家」、それ以外は砂浜やみなとまち海浜公園といった自然の中で走り回る。また、年間を通じてキャンプや川遊び、雪遊び、山寺体験などを行う自然体験教室にも多くの子どもたちが参加している。「ここは子どもたちが自発的に考え、工夫しながら夢中になって遊ぶ経験を育む居場所」だと笹川さんはいう。

最近では、しらさん家に通っていた卒業生がボランティアとして活動に参加してくれることもあり、今後は「学校に通えない子どもたちの居場所作りを地域と連携しながら考えていきたい」と前を向く。その手始めとして、平日午前中に未就園児と保護者に「しらさん家」を開放する活動も始めている。

また、これまでの経験を生かしてシニア向けに健康と笑いを届ける「お達者出前教室」の他、子どもの「運動あそび教室」、「親子ふれあい運動キズナビクス」などの講師派遣も行い、NPOとして活動の幅を広げている。



お問い合わせ

NPO法人 あそびそだちiLabo
柏崎市東本町1-6-12 モーリエⅢ1F
☎0257-32-2075



WEB